

見守り・告知ネットワーク「サイボード」
(青森県佐井村)

〔概要〕

「情報格差を克服した安心安全な発展できる村づくりを目指して」をテーマとし、地域間及び世代間での情報技術スキルと利用環境格差からくる情報享受の不平等状態をなくし、全村民がICT技術の恩恵を受けることができる仕組みづくりと、ICT利活用による安心安全な生活環境を整える仕組みづくりを目的とする取組み。

〔コラム〕

簡単な操作で利用できる情報端末を全世帯に配置し、世代間・世帯間格差を補完したシステムとネットワークを構築しました。高齢者の安否確認、行政情報の配信のほか年金や子育てなどさまざまな分野の相談受付にも活用しています。

システムの機能として

① 告知・情報提供機能

役場及び公共的団体からのイベントやお知らせの情報が表示される機能。この機能によりこれまでパソコンや携帯電話を活用できなかった住民に対してもリアルタイムな地域の情報を配信することを可能にしました。

② 安否確認機能

関連団体から高齢者見守り対象者に安否確認を行う機能。この機能により毎日呼びかけを行い、見守り対象者に安心感を持たせています。

③ 相談・問合せ要求通知機能

役場関係課に相談等がある場合に、メールで相談をする機能。この機能により役場へ問合せするのが苦手な人などが気楽に相談できるようになりました。

④ メール受信機能

役場やあらかじめ認証・登録された第三者からのメールを受信でき、メールに添付された写真などの画像をアルバム管理できる機能（フォトフレーム機能）。この機能により遠方にいる親せきや子ども、孫などのメールにより送られた写真を受信し表示できるようになり、電子メール受信及び画像データの簡便な利用手段を提供しました。

今後の展開として

システム導入により健康診断の一次申し込みや、相談・訪問依頼のような福祉行政に関する利用や、簡易的なアンケート収集等、即自的且つ低コストの情報収集に利用することを計画しており、その効果が大きいと期待されています。

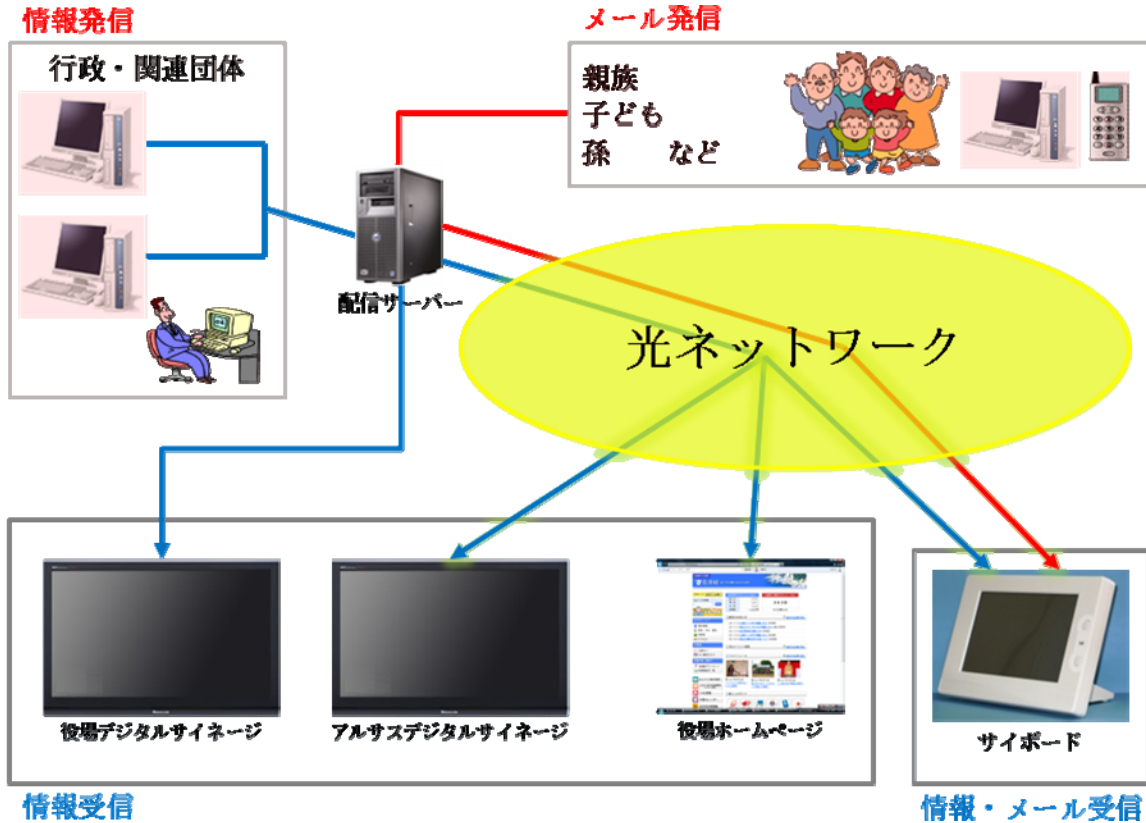
また、ICT利活用の新たな地域コミュニケーションツールとして、本システムの役割は大きいものがありますが、システムの簡便なコミュニケーションツールと新たな配信コンテンツの創出は同時に、合理的な利用方法と運用体制の確立が求められています。そのため、サービス提供団体の体制維持の継続等の課題が見えてきています。

結果的には「人」が動いてサービス提供が行われるため、情報や要望だけが錯綜し、対応しきれなくなる恐れを考慮する必要があります。システムとして「新たなコンテ

ンツや情報提供」を追加し得ることと、実際に人が動いてサービス提供できることのバランスを取っていくことが今後の検討課題となっています。

〔事業費〕 67,333千円（地域情報通信技術利活用推進交付金事業を活用）

【システム概念図】



【機器名及び機器の概要】

- 製品名：S I I T（シート）
（Small Image Information Terminal）
愛称：サイボード
（佐井村の案内板という意味）
概要：簡単な操作で利用できるタッチパネル付
小型画像情報端末機
（7インチ型、無線LAN機能内蔵）



（システムプロデューサー）

青森公立大学地域研究センター長 香取 薫

（問い合わせ先）

佐井村役場 総務課総務・情報部門

TEL 0175-38-2111

Eメール si-system@sai.e-shimokita.jp

おひとりさま支援プロジェクト “きづな”
(東京都北区)

〔概要〕

NPO 法人 EBH 推進協議会は『おひとりさま支援プロジェクト“きづな”』を立案、総務省 平成 22 年度地域雇用創造 ICT 絆プロジェクトとして採択されました。

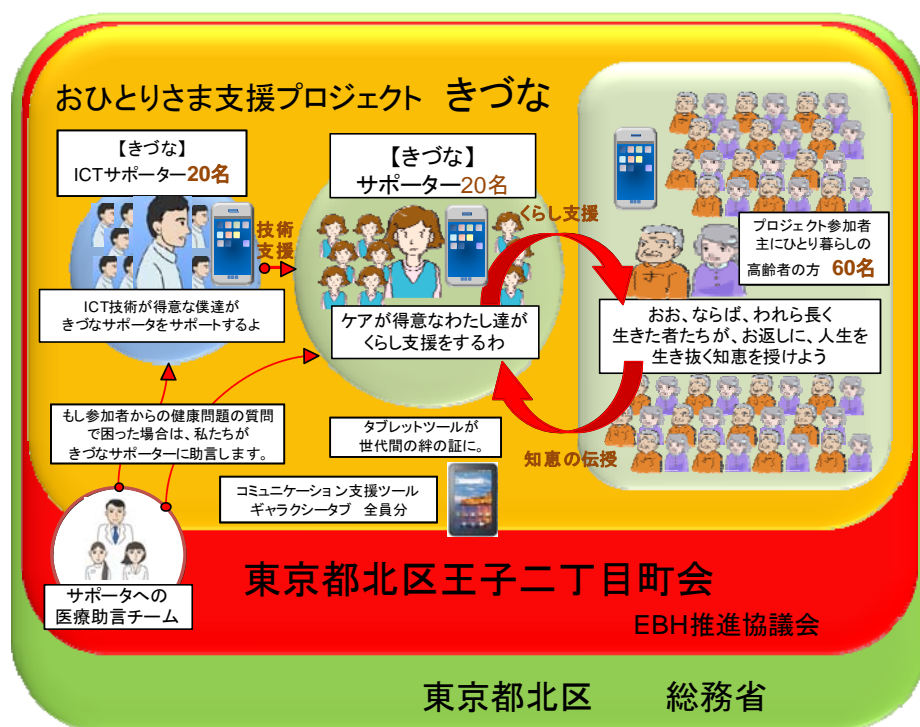
本事業は、地域の意欲ある主婦・若者たちが高齢者の生活を遠隔で見守り、生活支援を行う事業構築を目指しています。

今回は、専用のコミュニケーション業務管理システムの構築とハード整備を行い、今後の事業基盤を整備し、そのうえで、東京都北区王子二丁目町会の全面的なご協力のもと、地域住民有志参加の ICT 人材育成を行い、受講者約 35 名に対して「きづなサポーター」「ICT サポーター」の修了資格を付与いたしました。この人材育成では、64 名の高齢者への生活支援・見守り事業の実施検証を約 1 ヶ月間にわたり行いました。

本事業では、サポーターと対象者全員が共通の ICT コミュニケーションツールとして、スマートタブレットを持ちました。これにより、サポーター陣が対象の方と同じ画面で利用方法を分かりやすく説明でき、誰でも簡単にサポートができると非常に高い評価を受けました。

〔コラム〕

なお、3 月 11 日の東日本大震災では、震災直後、担当の高齢者の安否確認にこの「きづな」システムが自主的に活用されました。今回の協力者からは、本プロジェクトが安否確認のために大変有効であるという評価をいただくと共に、事業としての高い可能性を評価いただき、その発展的継続を強く期待されています。

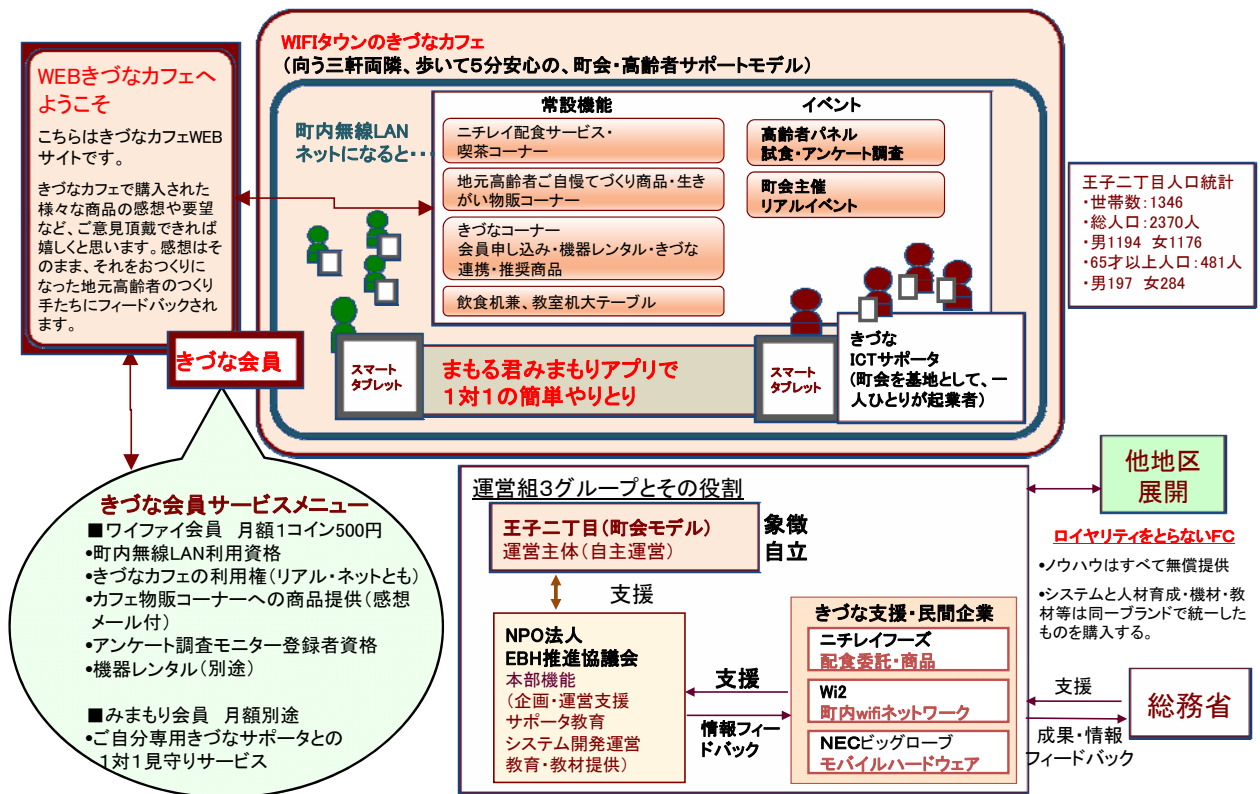


今後の展開として、王子二丁目で町内会会長の土地に「きづなカフェ」を作って配食・喫茶や物販などのコーナーや機器に関するサポート体制（機器の貸出・設定、使い方伝授）を整備し、交流やリアルイベントの会場としても活用する仕組みを仕上げ、高齢者をターゲットにするにもどのような進め方が適切か、モニターを募って練っていく予定です。

リアルなきづなカフェとネット上のアプリによるつながりとして、月額ワンコイン（500円）でのサービス提供実現を目指しています。無線LANを使った1日1回の簡単なコミュニケーションが、非常に大切なきずなになります。

王子二丁目が主催者、EBH推進協議会が事務局となって、きづなサポーターには1人あたり100時間の研修を行い、本プロジェクトで高齢者をサポートできる技能を身に付けます。町内の無線LANにはワイヤ・アンド・ワイヤレスのWi-Fi網を使って、商店街に沿って無線LANを広げていく予定です。他の地域への横展開について、総務省、東京都、商工会議所などと話を進めています。なるべくロイヤルティ等取らない方向で細く長くやっていきたいと考えています。

きづなプロジェクトNEXT 防災・防犯・みまもりをICTきづなで支える



(問い合わせ先)

NPO 法人 EBH 推進協議会「おひとりさま支援プロジェクト“きづな”」事務局
 Eメール ebh@ebh.or.jp

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス
 Eメール wifi@wi2.co.jp

**巡回移動連絡車による行政サービスの取り組み
(鹿児島県薩摩川内市)**

〔概要〕

薩摩川内市は、全国的にも稀な外海離島（甌島）を含めて誕生した市で、特に下甌地域では支所までの交通の便が悪く過疎と高齢化が進行している集落が点在している状況にある。

この点在する地域住民に対する行政サービスの向上は、従前から大きな課題であった。そこで、平成20年2月にこれらの問題を解決するため地区コミュニティセンター間を専用のネットワークで結び、通常窓口と同様のサービスを実現できる新たな巡回移動連絡車を運用することとした。

〔コラム〕

甌島下甌地域では、従来から巡回移動連絡車による地域に出向いての証明交付事務のサービスを行っていた。

しかし、その方法は従来からのFAX送信によるデータ転送のため、証明書の印字が不鮮明で、かつ支所職員の対応も必要でもあり、誤送信によるリスクなどもあった。

そこで、証明書自動交付機を導入したときの住基カードを利用したシステムに変更することで、これらの問題点の解決と住民に対するサービスの向上になると考え計画した。

これは、巡回移動連絡車と地区コミュニティセンター間を専用のネットワークで結ぶことにより、車内で通常窓口と同様のサービスを実現するものである。

具体的には、下甌地域の各地区のコミュニティセンター等5ヶ所に、専用端末とプリンタを搭載した車が事前に計画された日程で定期巡回し、住民は、指定の時間帯に出向くことにより車内で市役所の窓口と同様に端末を使い証明書発行を受けられるサービスである。

また、巡回移動連絡車からは無線LANで各地区のコミュニティセンターネットワークとアクセスすることにより、車載バッテリーからのインバータ電源供給と併せ、有線によるネットワークや電源供給が必要としないシステムで、操作性が高いものとなっている。

戸籍謄本等の交付についても、平成22年7月に認容され現在、住民票の写し、印鑑証明書、所得証明などとともに交付をしている。

なお、このサービスは対象地区の高齢者を中心に大変好評であり、今後は、同様の他地区コミュニティセンター等にも導入できないか検討している。



自然豊かな甌島のナポレオン岩

〔制作費（内公的な補助額）〕

【導入経費】

○車両、備品一式・・・・・・・・・・・・・・・・・・3, 245, 000円

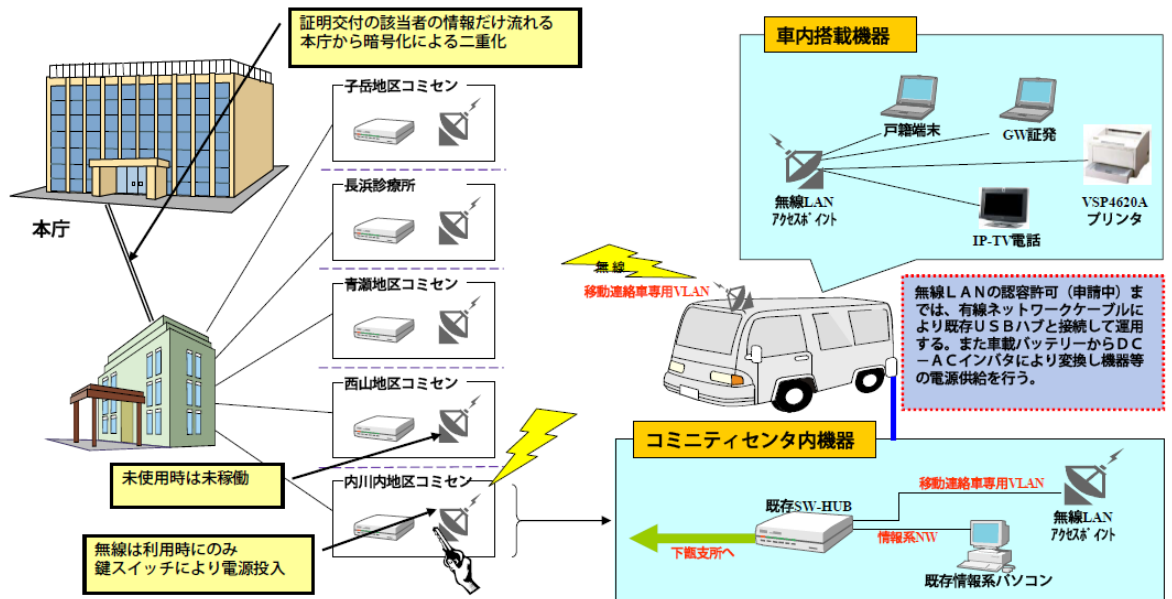
○ネットワーク、端末構築経費 一式・・・2,045,400円
 合計 5,290,400円
 (うち LASDEC 半額助成)

【維持経費】

○燃料代、整備費 (年間)・・・342,000円
 ○ネットワーク等保守経費 (自動交付システムと共用のため費用の発生はない。)

巡回移動連絡車機器構成図

移動連絡車に無線LANアクセスポイントを搭載し、各コミュニティセンターに到着することで通信が可能となる。各コミュニティセンター設置の無線LAN環境を移動連絡車専用VLAN構成とすることで、移動連絡車側端末の環境変更を意識することなく業務の運用が行える。無線LANにおいては、暗号化・接続パスワードの設定・MACアドレス制限等によってセキュリティ対策を講じる。
 ※戸籍証明認容許可 平成22年7月29日付け



■車内では、職員が専用端末とプリンタを使って証明書を発行



■下甞地域で導入した巡回移動連絡車の外観

(問い合わせ先)

薩摩川内市役所 市民課 住民グループ
 TEL 代表 0996(23)5111
 Eメール jumin@city.satsumasendai.lg.jp

ＴＶ会議を活用した「新しいコミュニケーション」によるまちづくり (富山県南砺市)

〔概要〕

ＩＣＴの進化に伴い、身近なものになってきたＴＶ会議システムについて、産業、医療、福祉の各分野に適した、使い易くて安価で安心・安全な３つのＴＶ会議システムを整備・活用し、円滑で効率的なビジネス会議をはじめ、遠隔医療、遠隔デイケア、地域や遠方親族による見守り、防災情報の共有などを促進し、企業と企業、企業と人、人と医療、人と安全を繋ぎ、人が集い、支え合う「新しいコミュニケーション」を形成する「まちづくり」に取り組んでいます。

〔コラム〕

南砺市は、人口の減少・少子高齢化が進展する中、面積の約８割を山林が占め居住地域が分散しているほか、豪雪地域も多いことから、市民の移動や交流、生活、経済等の様々な活動に課題を抱えています。

一方、市内全域に、ＣＡＴＶのブロードバンドネットワーク網が整備されていることから、近年、急速に普及が進む「ＴＶ会議システム」を活用し、人・モノ・情報の発信・交流を促進することで、産業の振興や住民サービス・福祉の向上、地域コミュニティの形成を図るなど、自然・文化・交流が織りなす「住み良い元気なふれあいのまちづくり」を推進するため、次の３つの施策に取り組んでいます。

(１) ＴＶ会議を活用した産業の振興

既存のパソコンとインターネット環境があれば、直接対面と同様の打合せや情報

の共有など、企業活動等に必要な業務環境を安価に提供できる「対面型オフィス間連携システム『ＴＡＩＭＥＮ』」を整備し、市内企業等と海外・大都市圏の企業等を結び、基盤の強化や生産効率の向上など地域産業の振興と若者等の定住の促進を図っています。

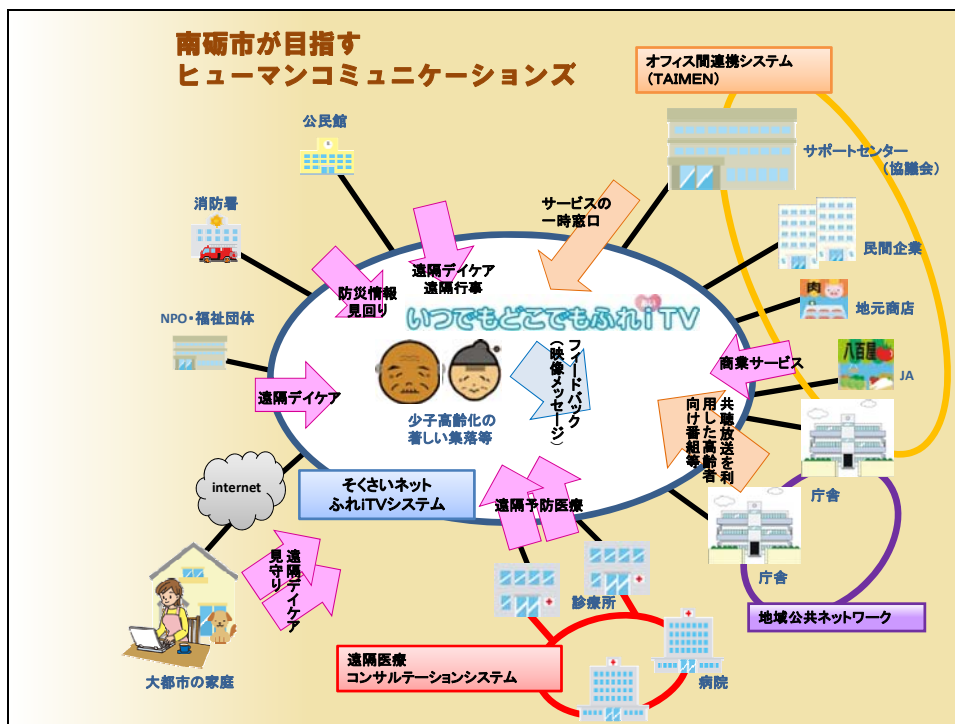
(２) ＴＶ会議を活用した遠隔コンサルテーションによる医療サービスの充実

南砺市医療情報ネットワークと電子カルテシステムを基盤に、ＴＶ会議を組合わせた「遠隔医療コンサルテーションシステム」を整備し、南砺市民病院の小児科・産婦人科等の専門医が、山間へき地にある診療所の総合診療医による診察をサポートするなど、専門医不足の解消と住民への医療サービス等の向上を図っています。

(３) ＴＶ会議を活用した地域ぐるみの高齢者の生活支援体制づくり

少子高齢化の著しい集落の高齢者独居世帯を中心に、地域住民のコミュニケーション不足や生活不安を解消するため、高齢者にも使い易い「そくさいネット『ふれ

『iTV』システムを整備するとともに、サポートセンターや介護施設、地域民間企業等を結び、いつでも・簡単に・すぐ隣にいるかのような地域ぐるみの高齢者の生活支援環境をつくるなど、高齢者の福祉サービスの向上と限界集落の地域コミュニティ再生、地域の活性化を図っています。



〔問合せ先〕

南砺市 市長政策室 企画情報課

TEL : 0763-23-2032 e-mail : info@city.nanto.lg.jp

(生活・行政サービスの向上—5)

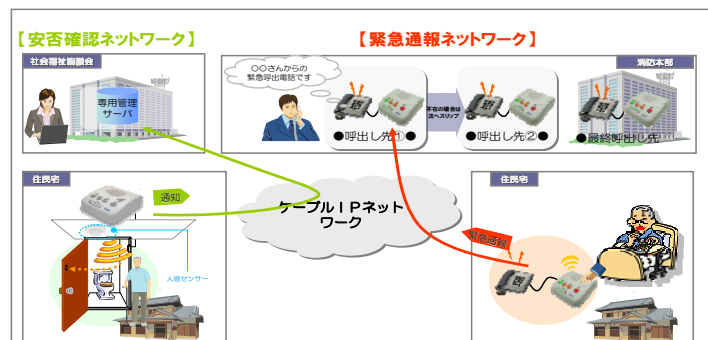
安否確認・緊急通報サービスの提供について
(大分県 豊後高田市)

大分県豊後高田市では、平成17年3月の市町村合併に伴い策定した新市建設計画及び総合計画において、ケーブルネットワーク施設整備を最重点プロジェクトとして位置づけ、市内全世帯を対象とした光ファイバ（FTTH方式）によるケーブルネットワーク網を構築し、市内全域で高速情報通信網を活用した様々なサービス（各種行政情報の提供、高速インターネット、多チャンネル放送、各種在宅サービス）の提供を行うことで、都市との情報格差、市内中心部と周辺部との情報格差の是正、地上デジタル放送への対応及びテレビ難視聴地域の解消を目的として、平成18年度から20年度にかけ、国の支援をいただき、市内全域に施設整備を行いました。特に一人暮らしの高齢者の緊急時（災害、病気等）における早急かつ迅速な支援体制の整備を図り、高齢者福祉の充実を図ることを目的とし、このケーブルネットワーク施設の通信における双方向性技術を活用した緊急通報や安否確認サービスの提供を行っています。

このサービスは、これまで提供していた緊急通報や安否確認システムでは、連絡体制や迅速な対応に限界があり、従来型システムの課題を解決し、スピーディな見守り体制が可能となりました。具体的には、緊急通報サービスの場合、80歳以上の方、65歳以上で虚弱な方、重度の身体障がいのある方等で、各家庭に設置したIP告知端末の緊急ボタンを押すことで、通報先連絡員2名へ通報が行き、連絡が取れない場合は、消防署救急隊へと順番に通報が行き、緊急時の初期対応として、いち早く利用者宅へ駆けつけ、状況把握や救援、援助等の対応をして頂くことを目的としています。また、安否確認サービスについては、80歳以上の方、重度の心身障がいのある方、70歳以上で心身に不安を抱える方の利用者宅に設置した「人感センサー」の情報を告知端末機器から安否確認サーバを通じて、社会福祉協議会のパソコンに表示させ、午前4時から午前9時までの間に「人感センサー」に反応がない場合、あらかじめ指定した近隣の協力者に社会福祉協議会から安否確認の依頼を行い、協力者に連絡が取れない場合は、社会福祉協議会の職員が直接訪問し、安否を確認するものです。

なお、80歳以上の方へは、これらのサービスは無料で受けられ、そのほかの方へは人感センサーの助成を行うなど、負担軽減を行っております。

また、80歳以上で構成する世帯の方に対しては、ケーブルテレビ利用料の免除を行うなど、この緊急通報・安否確認サービスの福祉の充実を図ることを目的として、免除の制度を設けております。このように、「緊急通報システム」「安否確認システム」をセットにすることで、緊急時には自分で24時間いつでも外部に連絡することが出来るとともに、自らが通報しないときでも定期的に外部からの安否



の確認が受けられ、一人暮らしの高齢者の方でも安心して生活していただける情報通信基盤を活用した環境整備を行いました。

〔豊後高田市〕

■市の概要

豊後高田市は、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、平成17年3月31日に豊後高田市、真玉町、香々地町の3市町が合併して、面積206.6平方キロメートル、人口約26,000人の新豊後高田市が発足しました。

瀬戸内海に面し一年を通じ温暖な気候に恵まれ、海岸部は「長崎鼻」に代表されるリアス式海岸や「日本の夕陽百選」に選ばれた真玉海岸、山間部の夷耶馬等、自然豊かな景色に恵まれ、6箇所の温泉もごぞいます。また、国宝富貴寺をはじめとする「六郷満山文化」の仏教遺跡、宇佐八幡の荘園として中性の荘園村落風景を色濃く残し、平成22年8月5日に国の重要文化的景観にも選定された「田染荘小崎の農村景観」など多くの歴史的文化的の豊かなまちです。

近年では、商店街が最もにぎやかで元気であった昭和30年代のにぎわいを取り戻そうと「商業と観光の一体的振興策」として、平成13年からスタートした「昭和の町」が10周年を迎え、年間40万人の観光客にお越しいただき、昔懐かしいボンネットバスの復活により、訪れる方々に大変好評をいただいております。また、「10年後に市人口3万人」の目標を掲げ、独身男女の「婚活」を地域ぐるみで支援することや、学びの21世紀塾やCATVを活用したテレビ寺子屋といった学校と家庭、地域が一体となった「教育のまち」を推進し、ご紹介した高齢者の安心・安全対策の他、健康なまちづくりで地域の元気力を向上させることや、安価な宅地を大規模に造成する計画など様々な定住対策と観光面に力をいれております。是非、豊後高田市へお住みください。



昭和のまち



田染荘



真玉海岸の夕陽

(問い合わせ先)

■大分県豊後高田市 情報推進課

大分県豊後高田市御玉 114 番地

TEL0978-22-3100 FAX0978-22-2725

e-mail : project@city.bungotakada.oita.jp

■ケーブルネットワークセンター

大分県豊後高田市中真玉 2144 番地 12

TEL0978-53-5114 FAX0978-25-4363

豊後高田市 URL <http://www.city.bungotakada.oita.jp>

ケーブルネットワーク URL

<http://www2.city.bungotakada.oita.jp/catv/index.html>

地区長の顔が見えるお知らせの配信
～双方向告知通信システムを活用した動画での地区放送～
(新潟県村上市山北地区)

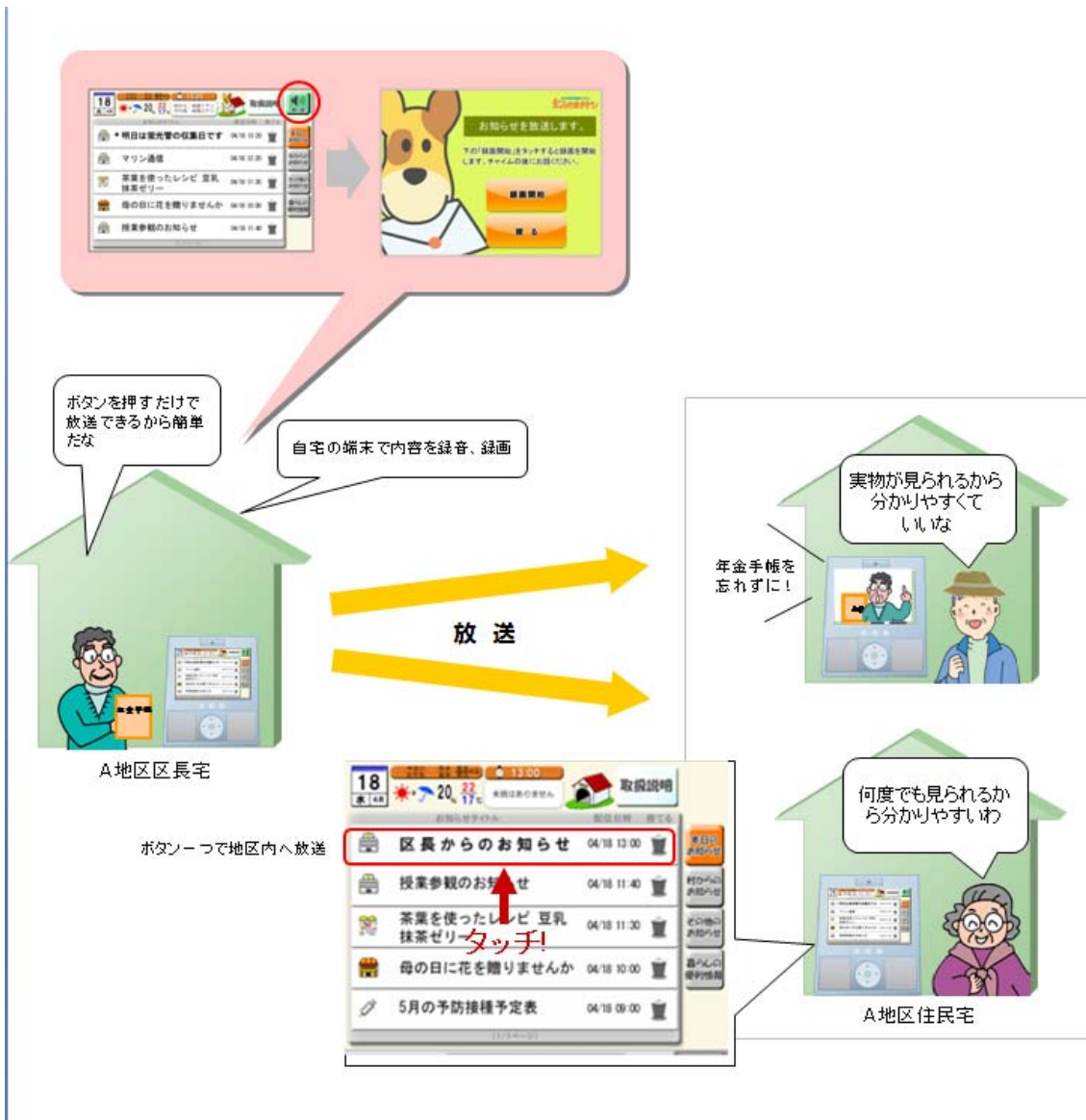
〔概要〕

山北地区では、双方向告知通信システム「知らせますケン」を導入し、光ブロードバンドネットワークを通じて、顔の見える告知放送を行っています。行政（山北支所）からの情報だけでなく、各地区長が自主的に簡易放送機能を利用し、地区内に集会の案内や連絡事項の伝達を行えます。簡易放送は告知端末からテレビ電話機能を利用し、動画で情報配信するため、文字を打つ手間はなく、視覚的に案内ができます。

〔コラム〕

山北地区には48の集落（地区）があります。その各々に区長がおり、通常、行政のお知らせの伝達や広報誌の配布など、地域に必要な情報を届ける重要な活動をされています。そのため、今回はより情報を早く簡単に伝達できるように各戸に設置した告知端末を利用し、区長から各区内にテレビ電話を利用した簡単なグループ放送を実現させました。端末は各戸に設置した通常の告知端末をそのまま利用します。ただし区長の端末だけセンターで簡易放送機能を追加するよう設定します。設定すると、トップ画面にマイクのボタンが現れ、ボタンを押すとカメラに映った映像を録画し、グループ放送として地区内に一斉送信出来ます。お知らせを配信する際は、配信ボタンをタッチするだけで、簡単に操作できます。また、動画でお知らせするので、わかりやすくより正確に情報が伝えられます。聞き逃しても再生は何度でもできて、便利です。通常システムは放送装置が別に必要になりますが、このシステムは1台で可能なため、場所もとりません。

また、区長が変わった場合でも、センターで簡易放送が出来る端末の権限を変更するだけなので、端末を移動させたり、それに伴う工事等が必要が無く、運用面でも負担を減らすことができます。



(問い合わせ先)
 東日本電信電話株式会社 B&O 事業推進本部 公共営業部 TEL : 03-6803-9055
 株式会社アイ・コミュニケーション
 e-mail shinchi@i-communication.co.jp

地域ポータルサイト「マイタウンクラブ」

(神奈川県厚木市)

<http://www.mytownclub.com/>

〔概要〕

厚木市が2004年から市のホームページとは別に運営を始めたネットサービス。図書館の蔵書検索・予約、公共施設予約、各種講座・イベントの申し込みなどのサービスが利用できます。また08年3月からは、「あつぎ地域SNS」を開始し、会員を中心に、地域の人々の交流を深める取り組みを進めています。

【日経地域情報化大賞2008 地域活性化センター賞受賞】

〔コラム〕

本サイトは、これまで行政情報だけを提供してきた「マイタウンクラブ」に対し、平成19年度「地域ICT利活用モデル構築事業」に採択されたことをきっかけとして、「地域経済の活性化」「生涯学習の充実」「地域コミュニティの再生」を目指し、「官民が連携した地域連携ポータルサイト」として大幅に機能を拡張したものです。リニューアル後の新たなサービスは、地域の店舗・サービス情報、自治体と民間事業者の講座情報の一括提供、マイタウンクラブ10万件(当時)の登録者を対象とした地域SNSの3種類です。民間事業者の情報は、バナー広告などと同様の広告掲載事業として位置づけ、月500円の掲載料を徴収し、事業全体の運営費に充てています。従来、広告費の予算が少なかったり、自社のホームページを持つことができなかつたりした小規模な店舗をターゲットとすることで、地域に埋もれている有益な情報を顕在化することが可能となります。さらに民間事業者(有料登録者)は、あつぎ地域SNS内のブログやコミュニティを利活用し、店舗のPRや地域住民とのコミュニケーションを図ることができます。また、地域SNSについても、これまで民間のSNSやブログなどを利用したことがない方をターゲット(会員の約半数は、40~60歳代)とし、シンプルで利用しやすいサービスを提供することで、地域住民のつながりやコミュニティの活性化を図っています。2011年11月現在のデータでは、地域SNSの会員数:3906件、コミュニティ数:289件、ブログ・トピック数:約1,700件/月、コメント数:約5,200件/月という状況です。

また、本サイトの運営をサポートするボランティア団体「マイタウンサポーターズクラブ」(会員43人)がサイト内のパトロールやまちかどレポートを実施するなど、地域の人づくり、まちづくり事業としても効果を上げています。

〔制作費（うち公的な補助額）〕

74 百万円（64 百万円：国庫委託金）※2007 年度構築分

（マイタウンクラブのホームページより）

個人・団体登録されている方

- ログイン
- 情報登録・更新
- パスワード通知

お知らせ

- 2010年1月5日 新システムメンテナンスに伴うサービスの停止について
- 2009年11月25日 マイタウンクラブページリニューアル

関連リンク

- 医療機関検索
- あつきNANDA? あつきの疑問にお答えします
- 防災気象情報
- お店・サービス情報
- 厚木市ホームページ
- マイタウンクラブについて

厚木市ホームページ・マイタウンクラブ・地域SNS内容検索

まちの話題

今日のお店・サービス紹介

まちかどレポート

地域SNS新着

今日のお店・サービス一覧

トピックス

Copyright ©2009 AtsugiCity. All rights reserved.

（問い合わせ先）

厚木市 情報政策課

TEL : 046-225-2459 e-mail : 1300@city.atsugi.kanagawa.jp

気象情報・除雪情報の Web 提供
(青森県弘前市)
<http://www.ring-o.jp/>

〔概要〕

平成 19 年度、市内 15 箇所にカメラ・気象センサー（積雪・気温・雨量）を設置し、その地点の現在の道路状況、交通量、積雪量、気温等の情報を効率的に収集し、その情報を市のポータルサイト Ring-0(リンゴ)の Web 版、携帯版、専用ディスプレイへ配信しました。また、除雪状況をパソコンや携帯電話へお知らせする仕組みや市民が携帯電話を利用して除排雪要望できる仕組みを構築しました。

【平成 19 年度 地域 ICT 利活用モデル構築事業】

〔コラム〕

平成 18 年度の世論調査において、雪対策に不満を持つ市民が 7 割を超えており、この不満解消が市の喫緊の課題であることが判明しました。そこで、ICT を利活用して、地域課題である雪対策に取り組み、その不満度を下げ、「快適でふれあいのある雪国生活の実現」を目指すこととしました。平成 19 年度は、主に 3 点の取り組みを行いました。1 つめは、市内 15 箇所にカメラ及び気象センサーを取り付け、道路状況や気象情報を既存の市ポータルサイト Ring-0(リンゴ)の Web 版、携帯電話版、専用ディスプレイから見られるようにしました。2 つめは、除雪車の運行状況をパソコン及び携帯電話で見られるようにしました。これまでは、除雪業者と事務担当だけで情報交換をしていましたが、その情報を市民にもお知らせするようにしました。3 つめは、市民が携帯電話を利用して除排雪の要望を行える仕組みにしました。積雪時になると、市民からかかってくる除排雪要望の電話が混み合って繋がらないため、その代替ツールとして携帯電話を利用した要望システムを構築しました。要望の際には、現場の写真を添付することも可能で、電話で聞くよりも状況がより明確に把握できるようになりました。成果と課題について分析すると、成果については、利用者にアンケートを行った結果、半数以上の方から満足だったとの回答を得ており、市民ニーズに応えるシステム構築であったと考えております。しかしながら、まだまだ周知されていないことが大きな課題と考えており、今後はシステムの改良を行いつつ、市民への周知活動を積極的に行っていく予定です。

〔事業費（うち公的な補助額）〕

62 百万円（62 百万円：総務省、地域 ICT 利活用モデル構築事業）

(弘前総合情報サイト Ring-O Web のホームページより)

The screenshot shows the Ring-O Web homepage with a navigation bar at the top. The main content area is titled "弘前市除雪情報" (Hiroaki City Snow Removal Information). Below the title, it says "除雪状況を表示したい地域を選択して下さい。" (Please select the area you want to display the snow removal status.) and "地域名(五十音順)" (Area name (五十音順)). A grid of hiragana characters is provided for selection:

あ	い	う	え	お
か	き	く	-	こ
さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と
な	に	ぬ	ね	の
は	ひ	ふ	-	ほ
ま	み	む	-	も
や	ゆ	よ		
-	-	-	-	-
わ				

Below the grid is a link: [弘前市除雪情報利用に関する注意事項](#) (Notice regarding the use of Hiroaki City Snow Removal Information). At the bottom left, contact information is provided: お問い合わせ (Contact), 弘前市道路維持課 (Hiroaki City Road Maintenance Section), 0172-32-8555, and josetsu@city.hirosaki.lg.jp. The right sidebar features "event pickup" with images for "弘前城 菊と紅葉まつり" (Hiroaki Castle Chrysanthemum and Autumn Leaves Festival), "弘前感交劇場" (Hiroaki Kanjō Gekijō), and "The 津軽三味線 2008" (The Tsugaru Shamisen 2008).

(問い合わせ先)

弘前市 情報政策課 情報化推進係

TEL : 0172-35-1133 e-mail : jouhou@city.hirosaki.lg.jp

子育て支援ポータルサイト
(NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ)
<http://www.hamamatsu-pippi.net/>

〔概要〕

浜松市と協働で制作・運営している子育て支援サイト。行政情報と民間情報を一度に見ることができ、子育て中の親の視点で情報発信している。子育て中の親の「知りたい」「相談したい」「つながりたい」に応える内容を目指している。【日経地域情報化大賞 2006 日本経済新聞社賞受賞】

〔コラム〕

浜松市及び周辺地域の人々に対する子育て支援を目的に、子育てに関する団体及び個人の相互の情報交流を支援し、地域社会における市民活動団体・行政・企業・学校等が連携するための環境を作り、豊かな地域社会の形成に寄与するために活動しています。ホームページ及び携帯サイトでは、子育てに役立つ行政情報と民間情報を合わせて発信しており月に6万件以上のアクセスがあります。このホームページは、主に5つの情報カテゴリーに分れています。必要とする情報に応じてご覧いただくことが可能です。(1) 知りたい：子育てに関するいろいろな情報を知りたいとき。(2) 相談したい：子育ての悩みや困りごとなど、どこに相談できるか知りたいとき。(3) つながりたい：子育ての仲間がほしいとき、育児サークルやイベントなどに参加したいとき。(4) 年齢別情報：妊娠から小学校低学年まで、それぞれの年齢で必要なこと。(5) 口コミ情報：招待制のSNS。

ぴっぴにはどなたでも参加することができます(正会員、賛助会員は年会費制、ぴっぴサポーターは無料)。また、ぴっぴを応援する企業や専門家の皆様の運営支援お待ちしております。孤独な子育てをしている現代の親たちに元気の素を提供できるのは、企業、大学、行政、団体、そして地域の人々に他なりません。それぞれがつながることにより情報が行き渡り、地域の子育て環境が良くなれば、それがそれぞれの場の働き手に対する支援にもなります。そして親たちが、私たちの住む街が元気になっていくのではないのでしょうか。ぴっぴのホームページはこうした情報提供の場、きっかけづくり、連携の場として役立つことを目指していますが、運営していくにはたくさんの人々の活動が必要で、ボランティアの領域だけではとても活動を継続することはできません。ぜひみなさまの応援をよろしく願いいたします。

〔制作費(うち公的な補助額)〕

4. 5百万円(浜松市)

(NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴのホームページより)

浜松市子育て情報サイト
ぴっぴ

知りたい 相談したい つながりたい 年齢別情報

?このサイトの使い方
Q文字のサイズ A A

検索

ホーム イベント ブログ 保育・教育 就労 健康 手続き お問い合わせ

November

認可保育園の新年度4月入園の受付が
11月末から申込受付が始まります。
詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

知りたい 行政・民間・お得情報をセレクトしました。
幼稚園・保育園／予防接種／病気・けが／母子手帳／妊婦健診／乳幼児健診／教室・講座／休日当番医／子ども手当／医療費助成／引越／小学校／放課後児童会／一時保育・託児／病児・病後児保育／防災／ファミリーサポート／エンゼルヘルパー／はますくファイル／しずおか子育て優待カード／障害児／ひとり親／取材ママが見てきたよ!／浜松の子育て支援・耳より情報／子育て応援企業・企業の就労支援／浜松市の問い合わせ先一覧／...その他一覧

相談したい 子ども・自分・子育て中の相談窓口は？
よくある質問と相談先／いろいろな相談先(子育て・こころ・医療と健康・障害・ひとり親・教育・男性・女性・仕事・その他)／相談日程カレンダー／...その他一覧

つながりたい 仲間づくりで子育ての輪を広げよう!
子育てサークル／サークル・団体検索／ブログ広場／イベントカレンダー／保育園親子ひろば／子育て支援ひろば／児童館・なかよし館／公園／施設／ブログ「子連れでおいでかけ」／子どもと大人の出張講座／...その他一覧

年齢別情報 年齢別に情報をまとめました。
妊婦出産／赤ちゃんが生まれたら／1～2歳児／3～5歳児／小学生入学のころ／...一覧へ

今月のおすすめ

- 11月は虐待防止推進月間です
- 困りごと、悩み事の相談先
- 認可保育園入園の流れと手続き
- 認証保育所とは
- 認定こども園とは
- 子どものお祝い行事 七五三
- わくわくドキドキ、ランドセル選び
- 子どもの事故防止

ぴっぴのブログ | [ブログ一覧](#)

子連れでおいでかけ
2011/11/22 UP!
ターミナル オブ ブックス

おすすめ図書
2011/11/21 UP!
おかえし

子育てのヒント
2011/11/20 UP!
かみさまに歯をもらったかえるくん

ひとひの防災ブログ
2011/11/22 UP!
木曾町社会福祉大会・防災体験講座

転入子育てファミリー応援サイト
ようこそ浜松!!
浜松市へ転入する子育てファミリーを応援するサイトです!

お知らせ&トピックス

履歴一覧

NPO法人 はままつ子育てネットワーク
学校 行政 地域 企業
ぴっぴ
子育て関連イベントなども盛りだくさん!

ようこそ浜松!!
転入子育てファミリー応援サイト

サポーター会員募集中
登録料・年会費は無料です!

(問い合わせ先)

NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ

TEL : 053-457-3418 e-mail : pippi@hamamatsu-pippi.net

ごみの便利帳 家庭用ごみの分別データベース
(愛媛県松山市)

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

〔概要〕

「まぜればただのごみ、分ければ大切な資源」の考えの下、市民の家庭用ごみ分別の手助けとして、市ホームページに家庭のごみ分別検索を可能とするごみの便利帳を用意している。

〔コラム〕

松山市においては、平成18年4月から、ごみの分別を見直し、新たな分別方法での排出を実施することとなりました。変更開始後の混乱を軽減するため、事前の周知広報に力を入れることとし、800箇所を越える町内会でそれぞれ説明会を開催するとともに、新分別に応じた「ごみ分別はやわかり帳」の作成等を行いました。特に「ごみ分別はやわかり帳」については、キャラクターを起用し、基本的な分別を分かりやすく表現した活用性の高いレイアウト・デザインに留意しました。また、約1,600品目を50音順に掲載し、「辞典」代わりに利用できるものとし、全世帯に配布しました。当時、携帯コンテンツを含むインターネット環境が爆発的に普及した時勢でもありましたので、旧来の「冊子」による啓発のみではなく、web上でも周知を啓発できないか手法を検討し、分別辞典を検索できる検索サイトを用意することとしました。1ヶ月に平均2,700件のアクセスがあり（内携帯からは約800件程度）概ね好評をいただいております。冊子による広報媒体でないことによる利点は「随時更新が可能なこと」です。市民からの問い合わせが多い品物については、「はやわかり帳」をフォローする形で、情報を追加し、また、冊子増版の際にも、データベースから反映することとしております。

〔制作費：500千円〕

(松山市のホームページより)

Welcome to Matsuyama City Web site English Deutsch

松山市

背景色や文字色を変更する方法 | 文字サイズ変更

ホーム 観光 市政 手続 施設 暮らし 健康 福祉 教育 文化 スポーツ 産業 防災・安全

お知らせ | 行事予定 | 報道発表 | 各課一覧 | 庁舎案内 | 広報まつやま | キッズページ | ダイアルガイド

安全・安心な暮らし

- 急病・救急案内
- 不審者情報
- 防災情報
- バリアフリーマップ
- 災害情報メール配信
- 今日の水源情報
- 光化学スモッグ情報

Matsuyama City (道後温泉本館)

検索・お役立ち

- まつやまインフォメーション
- 各種地図検索
- 家庭のごみ分別検索**
- まつやま市民便利帳
- 松山市例規集
- 市議会会議録検索
- ごみカレンダー
- 松山市の温暖化対策

電子手続き

- つばぎネット(施設予約)
- 入札情報(電子入札)

お知らせ

- 住宅用火災警報器設置促進フェア&ミュージカル「地震カミナリ火事オヤジ」公演について
- まつやまEPOX(エポック)・「市街劇人力飛行機ノロモン・松山篇」の上演について
- 「急募!!ニガウリ・ヘチマの種」について
- まちづくり交付金事後評価原案(松山市中心地区)の公表について
- 平成20年 年末の交通安全運動について
- 朝生田雨水排水ポンプ場の完成式典と現地見学会について
- 「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」の指定業種の追加について
- 「松山市中心市街地活性化基本計画」の認定について
- 桑原・浮穴・石井及び伊台保育園運営委託業務の特定結果について

募集

もっと見る >>



家庭用ゴミの分別データベース

- 品名で検索する(全角で入力してね)
品名
- 種類で一覧表示する
種類

検索

お問い合わせは、松山市役所清掃課
TEL 089-921-5516・FAX 089-921-6311・E-mail:seisou@city.matsuyama.ehime.jp

(問い合わせ先)

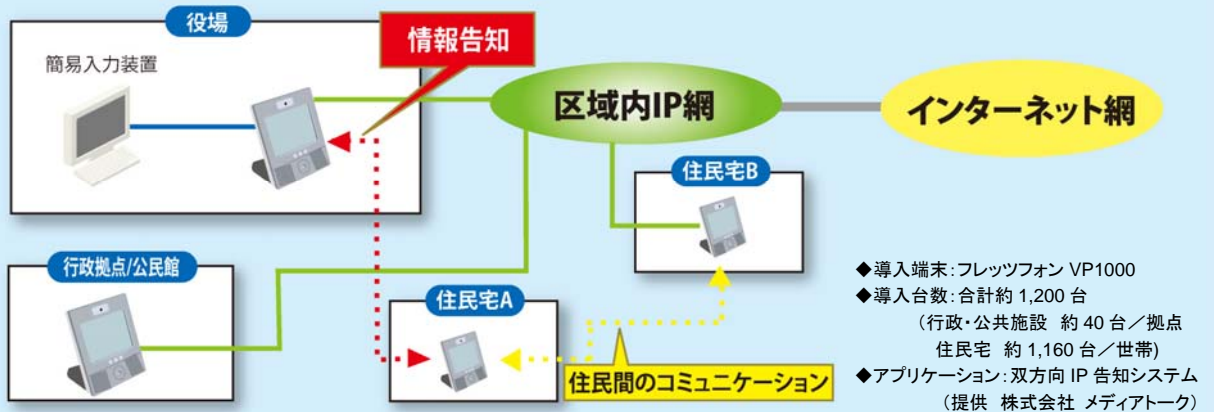
松山市役所 清掃課

TEL : 089-921-5516 e-mail : seisou@city.matsuyama.ehime.jp

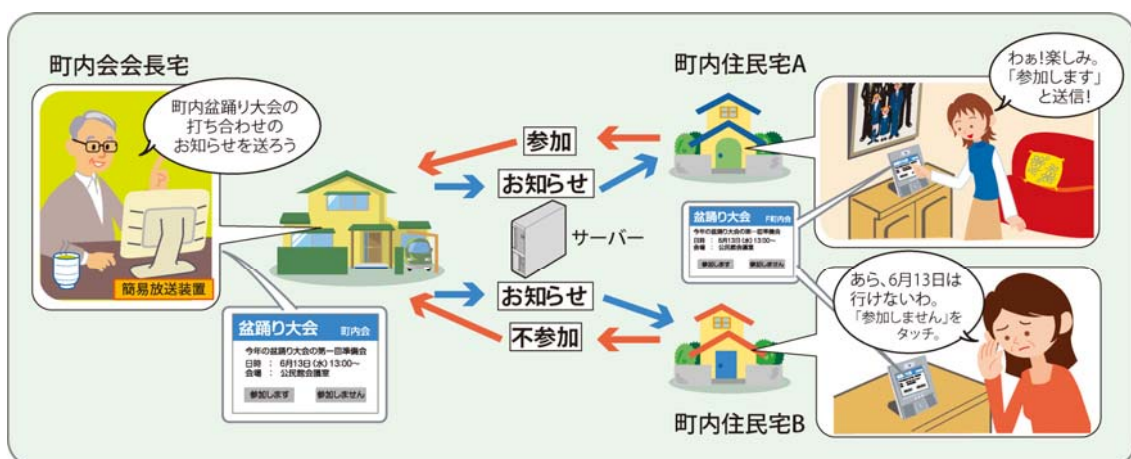
地域コミュニティ活性化のための地域情報基盤 (京都府南山城村)

村が整備した光ブロードバンド環境を利用し、村からのお知らせや緊急告知等を音声や画像・文字等で配信可能なIP告知システムを全世帯に導入。ディスプレイ付告知端末や双方向ブロードバンド環境を活用し、行政情報配信（ごみ収集・イベント・選挙公報等）の他、町内テレビ電話の提供等、村と住民・住民同士の地域コミュニティ活性化を目指した行政サービスを提供しています。

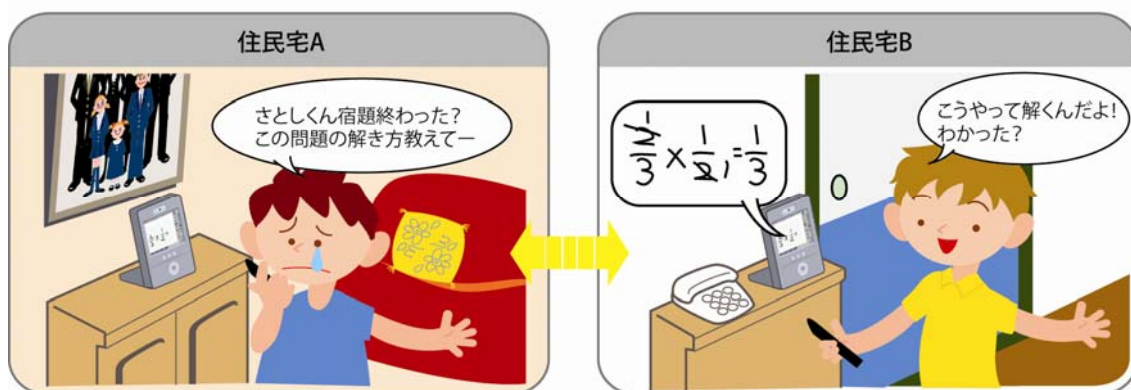
ネットワーク概念図



双方向機能を活用したイベント告知



情報端末を活用した住民間コミュニケーション



住民は配信情報に対して返答することができ、例えば村主催のイベントに対して参加希望の回答を返すことが可能です。情報配信側も受信状況・回答結果を集約して確認できるため、安否確認や住民アンケート等、多様な行政サービスを提供可能です。

また、光ブロードバンド環境とディスプレイ付告知端末を活用したコンテンツ配信が可能であり、村では料理レシピをほぼ毎日配信。さらに町内テレビ電話も提供する等、様々な方法で地域交流の活性化を目指しています。

(問い合わせ先)

西日本電信電話株式会社 法人営業本部 ソリューションビジネス部

地域 ICT 推進グループ 地域情報化チーム

e-mail: smart-e@bch.west.ntt.co.jp

まつやまバリアフリーマップ情報サイト、おでかけらくらくまっぷ
(社会福祉法人 松山市社会福祉協議会)
http://www.hecoman.com/index_fl.html

〔概要〕

愛媛県松山市内の公共、民間施設のバリアフリー整備状況を、地図とっしよに調べることができる。

〔コラム〕

この「おでかけらくらくマップ」は学生による政策論文がきっかけとなり、松山市が進める「お年寄りや障害者にやさしい日本一のまちづくり」の実現に向けた「バリアフリーマップ作成事業」の一環として作成されました。この取り組みは、市内各施設等におけるバリアフリー情報を調査し、高齢者や障がいのある方々・観光客の方々に安心して外出いただくことを目的としており、あらかじめ施設の状況（公共施設等のバリアフリー整備状況や割引情報・乗り物情報）を知っていただくために、バリアフリー情報をお届けするものです。各施設（店舗等）の情報は、名称、カテゴリー、観光地から検索でき、その検索情報の中に、バリアフリー情報（ピクトグラム）、地図、連絡先等を見ることができます。さらに、平成２２年度には新たにバリアフリー情報の項目を二つ増やし、紙媒体とともに情報サイトの全面改訂を行い、随時情報の更新に努めております。また、紙媒体に視覚障がいのある方々や高齢者にも利用していただけるようにＳＰ（音声読み上げ）コードを加えたほか、紙媒体をPDF版としてパソコンから印刷可能にしました。

この情報サイトは、市内だけでなく県外の旅行者や旅行代理店などからもお問合せをいただくなど好評です。また利用者は、パソコンからの事前の情報収集の他に、持ち運びの出来る紙媒体や携帯電話により、外出先でも確認ができるようになっていきます。バリアフリーの整備については、建物の構造や立地条件等により、整備することが困難な施設もたくさんあります。しかし、ハード面での整備は困難でも、ソフト面、情報面等でのバリアフリー化を行うことで、段差はあっても職員（スタッフ）の方による介助があれば利用することが可能な施設もあります。そういった「心のバリアフリー」について啓発し、「一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山」というキャッチフレーズを掲げ、“誇れる”福祉・医療で笑顔に の実現に向けて取り組んでいます。

[? ヘルプ](#)
[お問い合わせ](#)
[よくある質問](#)

HTML版

中島

北条

松山港

道後

三津浜

大手町

市坪

石手

砥部

へこまん へこ太

もっと詳しく!

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。
宝くじは、広く社会に役立てられています。
この事業は宝くじの助成を受けて実施しました。

トピックスはこちら 最新登録施設はこちら

施設名称 からさがす	カテゴリ からさがす	住所 からさがす	観光地 からさがす
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="button" value="検索"/>			

施設名、もしくは手がかりとなるキーワードを入力してください。
キーワードは、スペースで区切って複数入力することができます。

[やさしい乗り物情報](#)
[やさしい割引情報](#)
[みんなにやさしい街](#)
[情報掲載希望の方\(施設\)へ](#)

[バリアフリーマップ調査表のダウンロード](#)

まつやまバリアフリーマップ情報サイト Flash版ホーム

[ホーム](#)
[お問い合わせ](#)
[ヘルプ](#)
[よくある質問](#)

[HOME](#) > [観光地からさがす](#)

[前のページへ戻る](#)
[施設名称からさがす](#)
[カテゴリからさがす](#)
[住所からさがす](#)
[観光地からさがす](#)

観光地からさがす

バリアフリー対応状況で絞り込む

<input type="checkbox"/> 車いす使用者駐車場	<input type="checkbox"/> 段差無、またはスロープ有	<input type="checkbox"/> 補助犬入室可
<input type="checkbox"/> 手話対応スタッフ	<input type="checkbox"/> 点字誘導ブロック	<input type="checkbox"/> 車いす使用者用トイレ

該当データ

13 件ヒットしました。

<<前へ 1 2 次へ>>

① [レストラン オレンジ](#) (グルメ> グルメ関係> レストラン・各国料理)

(問い合わせ先) 社会福祉法人 松山市社会福祉協議会

<http://www.hecoman.com/form/index.html>

バスロケーションシステム 酒田市るんるんバス (山形県酒田市)

<http://locomobi.jp/service/runrunbus/web/>

〔概要〕

自宅に居ながら路線バスの運行状況が分かる。バスのアイコンは現在の走行位置を示し、乗車/降車バス停をクリックし検索ボタンを押すと、各バス停の到着予想時刻が表示される。

〔コラム〕

平成17年に国土交通省と共同で、バス運行情報サービスを開始しました。道路の状況等でバス停へのバス到着時間が大幅に遅れる場合、これまでは運行状況の確認が難しく、お客様からの問い合わせに答えることができなかったのですが、このシステムを導入したことにより、市役所からはもちろん、お客様自身がバスの運行状況を確認し、バスの到着時刻を知ることができるようになりました。特に降雪時の除雪対応等の状況でバスが遅れることが多い冬期間にアクセスが多くなります。現在は、るんるんバス全10路線のうち、3路線にシステムを導入していますが、今後、すべての路線への導入が課題となっております。

(酒田市のホームページより)

酒田市 るんるんバス
バスロケーションシステム

● 市内循環 ● 路線図をみる

2009/01/20 14:59 現在

- 市内循環右回り (中町西ー発着)
- 市内循環左回り (中町ー発着)

検索

※1バスのアイコンは現在の走行位置を示しています。運行時間外は待機場(車庫)の中に表示されます。

※2バスに関する提供情報は交通事情などにより実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

酒田駅大学線へ

(問い合わせ先) 酒田市商工観光部商工港湾課商業振興係

TEL : 0234-26-5756